



さどわらべ



QRコード
バックナンバー
がご覧にな
れます。

◆ 島津入城420年記念祭

島津入城420年記念祭が、2月11日(日)に佐土原歴史資料館「鶴松館」駐車場を中心に開催され、多くの来場者で大変賑わいました。実行委員会や薩摩日置鉄砲隊、そして、手作りのよろいやかぶとに身を包んだ地元の小学生が中心となった武者行列が江戸時代以降の佐土原城初代藩主である島津以久公のお墓のある「高月院」から「鶴松館」まで練り歩き、入城しました。

会場では、オープニングセレモニーの後、「薩摩日置鉄砲隊」の演武があり、その迫力に会場からは溜息と拍手が沸き起こりました。ステージイベントでは、「第16回島津太鼓フェスティバル」が開催され、「ロック太鼓」「那珂小学校(那珂っ子龍の轟)」「橋太鼓響座」が出演し、会場を盛り上げました。そのあと、「抽選会」が行われ、エンディングステージでは、MDFによるダンス、佐土原伝承芸能保存会を中心とした「いろは口説き踊り」が披露されました。そのほか、キッチンカーや出店、交流都市である垂水市の特産品等の販売もありました。



◆ 佐土原保健センターからのお知らせ

出前講座を実施しています！

保健センターでは「生活習慣病予防」をテーマに、出前講座を行っています。

令和5年度は、高血圧・高血糖・慢性腎臓病について、健診結果の数値はどういう状況を示しているのかお話ししました。



【出前講座の感想】

- 勉強になりました。
日々の生活習慣がいかに大切か、身をもって理解しているところではあります。
- 健診結果表の意味もよく分からず、見ている部分がありました。HbA1c(※1)・eGFR(※2)に気をつけようと思います。

※1 HbA1c…過去1-2か月間の平均的な血糖の状態

※2 eGFR…腎臓がどのくらい働いているかをみる値

そのほかにも、佐土原保健センターでは、住吉・佐土原地区の市民を対象に、成人(各種健(検)診後の相談など)・母子(親子健康手帳の交付や乳幼児の相談など)・こころ(健康相談など)の健康に関する支援を行っています。お気軽にご相談ください。

【問合せ先】 宮崎市佐土原保健センター

電話:73-1115

◆ 宮崎市津倉市民農園の紹介

市民農園貸し出し中！



野菜や花等を育て、農業の楽しさ・難しさを体験できます！

個人、友達、家族、団体等での利用OK！

駐車場やトイレ等も完備！

詳しくは、佐土原総合支所・農林建設課(73-1114)または、市のHPをご覧ください。



■場所:佐土原町東上那珂11780-1 (久峰総合公園から西に約2km)

■料金:年間1区画7,330円

*1区画約15m²(3m×5m)

1人2区画まで利用可能

*4月1日から年間 7,660円



ホームページ QRコード↑

◆第15回広瀬西小校区芸能文化まつり

「第15回広瀬西小校区芸能文化まつり」が、1月27日(土)と28日(日)に佐土原総合文化センターで開催され、多くの来場者でにぎわいました。日曜日は、ステージ・展示・販売・防災・体験の5部門で構成され、体験部門では、広瀬西小の児童が、学年毎に「おはなし会・石器レプリカづくり・水消火器や煙体験、ロープワーク実習・茶道」を学びました。ステージ部門では、各自治会から推薦された皆さんによる合唱・日舞・太極拳・フラダンス・吟詠・楽器演奏等をはじめ、光が丘幼稚園児の表現発表、広瀬西小の全学年が参加しての合唱・ダンス・臼太鼓踊り等の表現活動をしました。また、久峰中吹奏楽部のアンサンブルや独奏と盛りだくさんの内容で、観客の涙を誘う場面もあり、立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。今回初めて、ステージの司会・進行や各部門の運営スタッフとして中学生ボランティアの協力を受け、地域の方や小学生との交流の場にもなり、充実した2日間でした。(主催:広瀬西小校区地域づくり推進委員会)



広瀬西小学校臼太鼓踊



石器レプリカづくり



茶道体験

◆佐土原高校だより

● アプリ「サステナボード」リリース記者発表

12月26日に情報技術部開発のアプリ「サステナボード」のリリース記者発表が本校にて行われました。このアプリは、環境に配慮した買い物を促し、食品ロスを防ぐ家計簿アプリで、2030年SDGs達成を手助けすることを目的としています。

11月に福島県の会津大学で開催されたパソコン甲子園モバイル部門ではグランプリを受賞しています。



● ファイ対策に係る紙芝居制作
伏贈呈式



● サイバー犯罪被害防止のための紙芝居を制作しました

宮崎県警察サイバー犯罪対策課の依頼を受け、小学生低学年に向けたサイバー犯罪被害防止のための紙芝居を制作しました。制作した産業デザイン科3年の岡元恋(れん)さんと川崎優桜(ゆら)さんに、1月23日に宮崎県警察より感謝状を頂きました。この紙芝居は各警察署に配布され、小学校の出前講座などで広く活用していただける予定です。

● 産業デザイン科第34回卒業制作展を開催しました

産業デザイン科3年生が、三年間の集大成として制作した作品を展示する卒業制作展を2月2日～2月4日に宮交シティ紫陽花ホールにて行いました。会場ではポスター、パッケージデザイン、プロダクトデザイン、映像作品などを展示し、多くの方にご来場いただきました。



● エコカー部

2023エコデンレース in 大阪 準優勝

● 産業デザイン科

令和5年度人権に関する作品 ポスター-高校生の部 最優秀賞 馬瀬 椰子(ませ やこ)

令和5年度宮崎県交通安全ポスターコンクール 高校・一般の部 金賞 三好 瑠奈(みよし るな)

◆ 地域イベント・行事予定 in sadowara (令和6年4月～6月) ◆

注) 新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染拡大防止のため、計画されたイベント等に影響が生じる可能性があります。開催につきましては、主催者にお問合せください。

◆ 佐土原図書館



●おはなし会のお知らせ

毎週水曜日と毎月第2～5土曜日に佐土原図書館おはなしのへやにて、おはなし会を行っております。

0歳の赤ちゃんから参加できますので、ぜひ遊びに来てください。

- 毎週水曜日 15:45～16:15 おはなしのわっ!
(絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊び等)
- 毎月第2土曜日 11:00～11:30 さどわら新鮮組
(佐土原の小中高生による読み聞かせ等)
- 毎月第3土曜日 11:00～11:30 いずみ一座
(絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊び等)
- 毎月第4・5土曜日 11:00～11:30 司書
(絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊び等)

●子ども向け上映会のお知らせ

毎月第1土曜日に子ども向け上映会を行います。子ども向けのアニメなどを上映します。

- 日 時：毎月第1土曜日 11:00～11:30
* 終了時間は上映内容により変更となる場合があります。
- 場 所：佐土原総合文化センター 視聴覚室
- 定 員：30名【申し込み不要 先着順】
- 料 金：無料



●午前10時からの上映会のお知らせ

毎月第1日曜日に上映会を行います。一般向け作品を上映します。

- 日 時：毎月第1日曜日 10:00～12:00
* 終了時間は上映内容により変更となる場合があります。
- 場 所：佐土原総合文化センター 視聴覚室
- 定 員：30名【申し込み不要 先着順】
- 料 金：無料

●図書館 de 落語 落としばなしのお知らせ

「くじら亭落語会」の皆さんによる約15分の寄席です。

- 日時：毎月第3日曜日 10:00～10:15頃
- 場所：佐土原図書館 畳の部屋
- 申込：不要 ■ 料金：無料
- 【お問合せ】宮崎市立佐土原図書館
電話 30-1037・FAX 72-2066
メール swlibrary@city.miyazaki.miyazaki.jp



◆ 佐土原交流フラガ

●「まなぶと」で生涯学習の扉を開こう!

宮崎市公民館では例年、春には前期、秋には後期の社会教育講座を募集しています。その季節になると、「まなぶと」という講座一覧冊子を自治会経由で配布し、これは各公民館でも入手できます。

開催回数はそれぞれですが、受講料は無料(材料費のみ実費徴収)です。佐土原地域では、4つの公民館が個性的な講座を計画しています。ご自分の興味、関心のある講座を見つけて、一度挑戦してみませんか? 今まで味わえなかった新しい喜びに出会えるかもしれませんよ。是非、多くの皆様のご応募をお待ちしています。
※QRコードからオンラインでの応募も可能です。

この春の「まなぶと」配布は、3月下旬の予定。お問い合わせは、下記各公民館へ。

- 久峰地区交流センター(佐土原総合文化センター内) 72-2998
- 佐土原地区交流センター 74-0018
- 那珂地区公民館 74-0087
- 広瀬地区交流センター 72-0244

◆ 宮崎市佐土原歴史資料館

●お城で生け花体験

- 日 時：令和6年6月16日(日) 10:00～12:00
- 場 所：佐土原歴史資料館 鶴松館
- 対象者：子ども(小学生以上)と保護者・一般の方 20名
- 参加費：1,000円/1人
- 要申込：令和6年5月16日～5月25日受付
申込者多数の場合は抽選
ホームページのお申込みフォームよりお申込みください。

【お問い合わせ】

生目の杜遊古館 電話47-8001(平日)
宮崎市佐土原歴史資料館
電話74-1518(土日)



◆ 久峰総合公園

●花苗プレゼント

花みどりの普及のために花苗(春夏の一年草ミックスを予定しています)の無料プレゼントを行います。

※勝手ながら、配布数は1家族1袋とさせていただきます。

- 日 時：令和6年5月4日(土) 午前10時～
- 場 所：久峰総合公園 噴水前広場
- 対象者：先着 50組
- 参加費：無し

【お問合せ】久峰総合公園管理事務所
電話 73-2782



◆ 佐土原花しょうぶまつり

花しょうぶの鑑賞や野点、コンサート、スタンプリリー等を計画しています。

- 日 時：令和6年6月1日(土)・2日(日) 10:00～15:00
(日時の変更がある可能性があります。)
- 場 所：佐土原城跡(花しょうぶ園、鶴松館及び駐車場)
- 主 催：佐土原花しょうぶまつり実行委員会
- 【お問合せ】佐土原小学校区地域づくり協議会
電話 74-3471



◆ 佐土原のお宝発掘・発展・発信事業 読本「佐土原むかし物語」より

吉川の局

吉川の局よしかわのくまというのは佐土原藩の侍さむらいの小河丹後おがわたんごという人の娘で、同じ藩の侍、小川鹿之助の妻となりました。寛永十四年（一六三七）、藩主忠興（二代目）が江戸で死んだとき、夫の鹿之助は殉死しましたので、お城に奉公に上がって五代惟久のおもひ役となり、吉川の局と申しました。

局というのは、宮殿の中の仕切られた部屋のことですが、そのような一つの部屋をもっている女官を局といい、朝廷に限らず地方の大名も、そうした女官がいたのです。そのころの佐土原藩は藩主の跡取りをめぐるお家騒動が起り、大変難しい関係にあったのです。

二代藩主忠興には三人の男子があり、長男は三代の久雄で、その弟は久富ひこみとい、三男は靱負と申しました。久雄も久富も、ともに母は松木氏の娘でありましたから、松木氏は非常に出世して家老となり、権力並ぶものなき状態でありました。

三代久雄は三十一歳で死にましたので、その世子忠高せしたかあきらがあとを継ぎましたが、この忠高も延宝四年（一六七六）八月に二十六歳で亡くなりました。その時、忠高には三月に生まれたばかりの万吉丸という男子がおりました。が、生まれたばかりの赤ん坊でありましたから、まことに困った状態となつたのです。

家老の松木氏は娘の子である久富ひこみと計って、佐土原の島津家を自分の意のままにしようとしていましたので、三代久雄、四代忠高が続いて若死にしたのも、松木一派が毒殺したのではないかと言われているほどでありました。それで、忠高が死んで、子が幼少であつたことは彼らの思つっぽでありました。さっそく幕府に願ひ出て、久富の長男の又吉郎（十三歳）を番代として忠高の子の万吉丸が十五歳になるまで藩主の代わりを勤めさせることにして許しを得たのです。

そして、又吉郎は久寿と呼ばれるようになりました。こうして、万吉丸が十五歳になるまでに死ねば自然に久寿が藩主になるわけですから、松木一派はわが事成れりと思つたのでした。

このような時に、万吉丸のおもひ役となつたのが吉川の局です。この方はたいへん忠義な女性で、これらのお家をねらつ悪人たちから幼い主人を守るためにあらゆる努力をし、夜も昼も護身用の短剣を肌からはなしたことがなかつたのです。

また、主君の食へ物は特に注意して、ご飯でもお菓子でも、必ず自分が毒見してからでないといふ絶対さしあげなかつたといわれています。ちょうど先代萩の政岡のような忠義な女性であり、ついにこのような努力で主人を悪人どもから守り、やがて万吉丸は五代の藩主惟久となりました。

こうした吉川の局の忠誠は今でも地域の人人にたたえられているのです。
（佐土原むかし物語「より」）

◆ 佐土原町交番からのお知らせ



● 災害に備える

近年、南海トラフ沿いの広い海域（静岡県駿河湾から日向灘）において、マグニチュード9クラスの巨大地震（南海トラフ地震）の発生が警戒されています。

南海トラフ地震が発生した場合、宮崎県では、最大震度7の地震が発生し、この地震に伴う津波は最大で約17m、沿岸地域への到達時間は、最短で14分と想定されており、約1万5千人の住民が地震や津波の犠牲になると予想されています。

大きな揺れを感じたときは、自分の命を最優先に考え、迅速な避難が必要です。

※宮崎市～津波高の最大値：16m（想定）

津波到達時間の最短値：18分（想定）

大事なのは、率先して避難すること、最善を尽くすこと

● ひむかの準備、ひなたで避難

ひ～非常持出品を準備する

最低3日分の食料や飲料水、ラジオ、懐中電灯、医薬品等を準備する

む～向かう場所（避難場所）を決めておく

避難所の場所や安全な避難経路を確認しておく

か～家族との連絡手段を確認する

家族で災害伝言ダイヤルなどの災害発生時の連絡手段を決めておく

ひ～ひとりでも

な～なにがなんでも

た～高いところに逃げんといかん

佐土原町交番 (0985-73-1141)

◆ 佐土原町の人口(令和6年2月1日現在 現住人口)

33,877人 ・男性 16,126人 ・女性 17,751人 ○世帯数 15,801

◆ 佐土原の史跡

さのぼる 佐野原神社



佐野原聖地は、神代の昔、うがやふすまあそすのみこと 鷲鷯草茸不合尊が都於郡から宮居を遷されて天下を治められた所で、尊は玉依姫命たまよりひめのみことをお后にお迎えになり、この地で佐野尊（のちの神武天皇）がお生まれになったと伝えられています。

中世以後佐土原を領した伊東氏、島津氏は、皇祖を奉祀する神社をこの聖地に建立し、崇敬の誠を尽くしてきましたが、明治2年に佐土原城を広瀬へ移転した際に巨田神社に合祀されることになりました。

その度、郷土史家の研究と努力が実を結び、昭和9年に佐野原聖地保存顕彰会が設立され、昭和35年、90年ぶりに佐野原神社を再建造営して、巨田神社から御神霊をお迎えし祀り奉りました。

爾来、例祭は毎年10月初めに行われます。

